

経営研修会 平成30年11月17日(土)

於：千葉市生涯学習センター

INDEX

経営研修会	1
議会報告	2
うすい日出男自伝	3
霜先生「旭日双光章」受章	3
例会委員会報告	4
スケジュール・編集後記	4

千葉神社周辺の再開発構想を学ぶ



11月17日(土)に第1回経営研修会を千葉市生涯学習センターにて行いました。講師に千葉神社 禰宜 山本 陽徳様をお迎えし、【千葉の街の成り立ちと再開発に向けて】をテーマにご講演いただきました。

当日は、会員24名ビジター7名のご参加を頂戴しました。多くのご参加をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

講演の前半は、千葉市の街の成り立ちを歴史に沿って分かりやすく解説していただき、地域における千葉神社の存在意義を改めて知ることとなりました。

質疑応答も活発に

後半は、千葉市の再開発の現状と今後の方向性という最新の情報を紹介していただきました。

中でも興味深かったのは、中央公園から千葉神社付近の東エリアの開発についてのお話です。

千葉市の働きかけで、今はスペイン公園とされている場所を和風公園にする計画があるそうで、千葉神社はその和風公園内に神社の社を築き、多くの方にあたりを回遊していただけるエリア構想を千葉市に進言しているということでした。

構想通りに再開発が進むと付近一帯に新しい人の流れが



できて賑わうことが予想され、私共にとってはとても楽しみなお話でした。

講演が終わり、質疑応答の時間になると多くの方々から質問があり、活発な意見交換の場となりました。やはり当たり前ですが、自分達の住む街の未来は気になるという証しですね。

最後に山本様をご紹介いただいた臼井副会長をはじめ、多くの方々のご協力のもと、盛会となったことを重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。また第2回経営研修会もよろしくお願い致します。

(研修委員長 早野泰広 記)



白井正一の県議会報告(番外編)

県議会議員のランチ事情

前回の報告機会では、県議会におけるクラブ活動や議員連盟について書かせていただいた記憶があります。今回は、県議会議員における食の事情についてお伝えします。

議会開会中に議員がどこで昼食をとるのか。私が独自に、勝手に、推測に基づいて統計をとったところ、

- ・ 議会食堂45%
- ・ 外食35%
- ・ お弁当(注文)15%
- ・ その他5%

といったところでしょうか(白井正一調べ)。

多くの議員が議会食堂にお世話になっていることがお分かりいただけると思います。私も積極的に議会食堂を利用する者の一人です。

しかし、残念ながら、6月議会を終えた7月末日をもって議会食堂は閉店してしまいました。

議会食堂ということで、県庁職員の利用に遠慮があったこと、常にある一定の議員用のスペースを確保せねばならず、フルに席数を活用できなかったことによる収支の悪化が主な原因とのことでした。

この他にも、ワガママな議員の注文に耐えきれなかったことも一因としてあるのではないかと、私は思っています。

一例を。「生姜焼き、肉2枚追加!」、「カレー南蛮トンカ



ツ乗せ。」、「タンメンの野菜ダブル、麺半分」 etc...

いずれにしても、議員食堂を利用していただいていた45%の議員は昼食難民となってしまい大変困っています。

私も一般質問の後、傍聴にお越し下さった方々と議会食堂でコーヒーをご一緒するのが恒例でしたので、まさに痛恨の極みでありました。

最近、公募により新たな事業者が決まったとの話。県連幹部からは、食堂の積極的な利用を促す異例の指令がありました。あとは、どれくらいワガママを抑えられるかですかね。ぜひ長く続けて温かくて美味しい食事を提供してほしいと願っています。

なお、県政報告は下記の「うすい正一オフィシャルサイト」をご参照ください。

<https://shoichi.info/report.php>

小川智之の市議会報告

「千葉市らしさ」を確立する4つの取り組み

月星会の皆様方には、夕食例会において、議会報告の機会をいただいておりますこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、今回は、「会報つきほし」においても、わざわざ誌面を割いていただきましたので、今期(5期目)4年間の取り組みについて少し振り返らせていただきたいと思います。

5期目の政策テーマとして特に力を入れてきたのが「都市アイデンティティ」、いわゆる「千葉市らしさ」の確立で、「加曽利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」といった4つの地域資源に絞り込んで取り組んできました。

「加曽利貝塚」については、提案が実り、昨年10月に国から貝塚として初めて特別史跡の指定を受けました。おかげさまで落ち込んでいた来館者数も順調に伸び、各種のイベントも盛況になっています。来年にはランドデザインを策定し、各種施策を推進して、さらに魅力アップを図っていきます。

「オオガハス」は、各区にオオガハスの名所を作ることを提案しましたが、まだ実現には至っていません。個人的には、姉妹都市であるヒューストン市に寄贈し、市内最大級の



公園であるハーマンパークの日本庭園に分根してきました。

「千葉氏」については、千葉氏顕彰会や千葉氏を語る会の役員に就任し、各種イベントを開催してきました。特に昨年の9月に源頼朝が石橋山の合戦に敗れた後、どのように千葉に流れ着いたのか検証する「渡海プロジェクト」の企画運営や、今年の千葉氏サミットにパネラーとして参加したことは、いい思い出となっております。

「海辺」については、平成26年に誘致したレッドブルエアレースを4年連続で開催したほか、稲毛の浜や幕張海浜公園の再整備に様々な形で参画するなど、充実した4年間でした。

次期は、これまでの取り組みをさらに加速させるとともに、まずは2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、尽力していきたいと思っております。

～広報委員会より～

平成から新年号に変わる2019年、多くの会員から密かにリクエストをいただいていた、我らが臼井日出男先生の「自伝」を連載の形でお送りします。第1回目は118号(5月発行)になる予定です。

連載はすべて、月例会員のために書き下ろしたものです。先生の来し方、すなわち生まれてから今日までの人生全般を振り返るとなると、1年では到底終わりません。2年でも無理でしょう。いずれにせよ、書き下ろしゆえに予定回数を予め決めずにスタートします。

どれだけ連載が続くかわからないので、今号と次号では、伝記本編の「序章」あるいは「予告編」として、臼井先生の来し方のあらましをインタビュー形式でお送りします。

インタビュー：平成30年11月29日、臼井家にて
聞き手：広報委員会 奥平 恵

振り返れば、妻への感謝が湧き出てくる

— これから臼井先生の生涯をご自身で振り返っていただくわけですが、今思い起こしてみても一番に浮かんでくるのはどういうことでしょうか。やはり議員活動ですか。

臼井 もちろん、国会議員として37年に亘って仕事をさせていただき、使命を果たした思いはあります。社会に出てからの私の人生は、議員生活抜きには語れません。

しかし、今一番に浮かんでくることは何かといえば、妻・久美子への感謝です。国会議員も含めて好きなことをやってきた生涯でした。それができたのは、まぎれもなく妻のおかげだと思っています。妻が久美子でなかったら政治家としてこれほど長くは続かなかったでしょうね。

— そうですか。それは、奥様が嬉しく思う言葉ですね。具体的に、たとえばどういう時、どういう事柄が感謝と



して浮かんでくるのかは、連載の中で詳しく書いていただくことにしましょう。

ところで先生のお父様、臼井荘一さんは千葉県民なら誰でも知っている国会議員でしたが、先生は物心ついた頃から政治家の道を歩もうとお考えになっていたのですか。お父様の後を継ぐような形で……。

臼井 いえ、そういう思いは全然ありませんでした。父は身内から自分の後継者を出すつもりはなかったと思います。後継者ではなく、秘書として身内を使うのは上手だったですね。私もその一人ですが。



— はい、先生はお父様の秘書をなさっていましたね。ですから、いずれは後継者という既定路線ができていたのかなと多くの人は思っていたのでは。

臼井 実際は全然違います。秘書をやったのはたまたまです。父の秘書は、最初は私の母の弟二人、つまり私にとって二人の叔父がやっていました。しかし、二人とも秘書の現役中に亡くなりましてね。そのあと、二人の妹さんが後を継ぎましたが、二人とも結婚退職してしまって事務所が手薄になりました。そこで、サラリーマンをやっている日出男を呼ぼう、という流れになったのです。

— 中央大学を卒業されてからずっとサラリーマンをされていたということですか？

臼井 そういことです。東京日野予一ゼル(株)に新卒入社して8年ほど勤めました。

— 学生時代は、どんな仕事に就きたいと思っていたのでしょうか。

臼井 こうい仕事に就きたいというのはなかったですね。サラリーマンになって大過なく過ごそうかと(笑)。

(次号に続く。構成：奥平)

霜 禮次郎先生、「旭日双光章」を受章！

10月11日京成ホテルミラマーレにて、霜整形外科医院院長・霜禮次郎先生の「旭日双光章受章記念祝賀会」が開催され、会を代表して出席させていただきました。

100名を越す参加者、華やかなお祝いムードの会場に圧倒されながらも、会からは霜先生を含め9名もの参加者があり、霜先生の月例会へのご厚情を感じました。司会は当会相談役の阿佐幸雄さん。発起人代表の挨拶は臼井日出男先生と、ここはさながら月例会のようでした。

来賓の祝辞、霜先生の謝辞、乾杯の挨拶と続き会食、懇談の時間に。懇談中は先生自ら各テーブルを回り、我々に勲章をお披露目して下さいました。特筆すべきは「受章記念『感謝』の金一封贈呈」としてスポーツ関連の10の団体等に霜先生から金一封が贈呈されたこと。自身の祝賀会

でお祝いを頂くどころか、贈呈するというのは驚きです。霜先生のスポーツ振興に対する想い・情熱を感じました。

最後に千葉市体育協会の小川直哉会長の音頭による会場一体の万歳三唱で締め括られました。記念品に1992年刊行の著書『メンタルマネジメント』がありましたが、今は当たり前になったこの考え方をいち早く取り入れて千葉のスポーツ界に寄与されたことに改めて感謝したいと思います。受章おめでとうございます！



(会長 木下英之 記)

例会委員会報告

10月例会 平成30年10月25日(木)

於：鮎割烹みどり

10月の例会は千葉県警察本部交通総務課から足澤警部^{あしざわ}をお招きして、千葉県での交通事故状況や高齢化に伴う認知機能の低下による注意点など、加害者や被害者にならないためのお話をして頂きました。



参加者は会員27名、ふくろう募金4129円でした。



11月例会 平成30年11月22日(木)

於：鮎割烹みどり

11月の例会は驚見会員による「健康寿命の鍵はお口の健康！」(口から始める介護予防)と題してお話して頂きました。

驚見会員ご自身が介護施設を経営されているので、いかに口腔内のケアが健康に密接な影響があるか、事例を交えて下さったのでわかりやすい卓話でした。

参加者会員18名、ふくろう募金1955円でした。



(10月、11月共、吉田光一例会委員長)

会員異動 退会

萩原 徹 雄氏、亀井 正 男氏 (株)かねたや家具)

私の近況

尾形文貴さんの巻

結婚35周年のお祝い

私の2018年後半は、お祝いが二つありました。まず嫁さんと結婚してから35周年という節目の年を迎えたこと。よく35年もお互いを思



いやって、我慢して頑張ったものだと思います。

私たちが結婚を決めるきっかけとなったのは、ディズニーランドでの楽しい思い出です。ちょうど35年前にディズニーランドがオープンした当初、2人で何度も行き、アトラクションの待ち時間さえ楽しく過ごしたものでした。

その後、時を経て結婚、私ども夫婦の結婚年月がディズニーランドの開園年月と全く同じ35周年という何とも憶え易い年月なのです。先日子供たちから記念に贈られたディズニーランドのチケットを2枚持って、夫婦で行ってまいりますが、35年前とはまた違う感慨深いものでした。

もう一つは、3人娘の3番目が結婚したこと。すでに2人の姉は結婚して子供もいますが、3番目も「30歳までには結婚」という我が家の公約を守って結婚してくれたわけで、とても嬉しい限りです。

3人の子供すべてを結婚させ孫まで授かり、親の役目を曲がりなりに一応済ませたのかなと思う今日この頃です。

最近、家族全員が健康で過ごせる幸せを感じています。

1～3月のスケジュール

1 / 9 (水)	役員会 18時00分開会 ホテル菜の花
1 / 26 (土)	新春の集い・賀詞交換会 お神楽演奏、演舞、抽選会 18時30分開会 ホテルグリーンタワー幕張 参加費 会員 5,000円 ビジター 6,000円
2 / 6 (水)	役員会 18時00分開会 ホテル菜の花
2 / 28 (木)	夕食例会 18時30分開会 鮎割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
3 / 6 (水)	役員会 18時00分開会 ホテル菜の花
3 / 27 (水)	夕食例会 18時30分開会 鮎割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円

年末の広報委員会では和気あいあいと来年発行号に向けての話し合いがされました。広報委員の皆様のご個性豊かで軽妙なやり取りで、楽しい時間を過ごすことができました。

個人的な話で恐縮ですが、来年早々に第一子が誕生する予定です。実感がわきませんが、子供を持つことで見えてくる世界もあるのだらうと思っています。まずは母子ともに無事を祈るのみ。皆さまもよいお年をお迎えください。(門山ひろあき事務所 石原裕久)